



長万部町地域おこし協力隊通信

4月、なんだか新しいことを力いっぱい始めたい気持ちになりますね！協力隊になって3年目。最終年度になります。花粉に負けることなく（笑）、4月から全開で頑張っていきます！よろしくお願いします。

平成29年長万部町地域おこし協力隊活動報告会inあつまんべ

これまでの協力隊の活動は、この広報で伝えてきましたが、まだまだ伝えきれていないことや、町の皆さんの声を直接聞いてみたい！との想いもあり、今回、報告会を企画しました。これまでの隊員の活動や、これからどのようにしていきたいのかなどのお話に、皆さん熱心に耳を傾けてくださいました。遅い時間からスタートしたにも関わらず、報告会に来ていただきましてありがとうございました。ここで、各隊員からのコメントです。



西山英彦隊員より

この報告会では、インターネットでの手帳の販売、移住に関する私の考え等を報告させてもらいました。意見交換の場では、システム手帳への関心、ネットカフェ難民を町民化など、私の活動に対しての関心があることが分かりました。ラスト1年。個人的には時間など足りないことが多いですが、自分の描いているビジョンを達成すべく尽力いたします。

武澤秀人隊員より

この報告会で私が一番伝えなかったテーマは長万部での定住です。私は定住策として長万部で誰もが気軽に集まって交流できる場所を創出し、コミュニティカフェを開業することを考えていました。そこで今年の活動で他の市町村のコミュニティカフェの視察を行ったり、コミュニティカフェに関する講座を受講するなど学んできました。コミュニティカフェは地域住民の憩いの場となり交流を促進するなど多くのメリットがある一方で、経営が成り立ちづらいというデメリットもあります。コミュニティカフェ運営だけで生計を立て長万部で定住するのは困難だと考えたすえ、私が出した最終的な結論は定住するにはまず収入源を確保することが先決であってそこで私は、町内での就職を考えています。まず生活基盤を整えて昨年から考えている地域コミュニティの創出に関する事業を行っていこうと思います。

協力隊最終任期の3年目はコミュニティ事業を形にしたいと思いますので月に数回お試しコミュニティカフェ開催を予定しておりますので沢山の町民の皆様に参加していただければと思います。

谷本美貴隊員より

協力隊通信で少しずつ活動の様子などお伝えしてきましたが、町の皆さんからの声を直接聞くことができたのは、大きな収穫でした。子ども関係の事業を回すには、色々な人の協力が必要。「ここでやってるよ〜！」「こんなことするよ〜！」と声をあげて、やってみて、反省して、また新しいコトを生み出す。これの繰り返しなんだと実感しました。意見交換の場では、様々な視点から意見をいただくことができ、とても充実した時間になりました。ありがとうございました。報告会、どんな内容を発表したのか。気になりますよね？（押し付けてはいませんか？笑）残り字数も少ないので……町で私を見かけたら声をかけてください♪

隊員としては、ラスト1年。地域のみなさんと何か楽しいコト、面白いコトをどんどん形にしていきながら、ずうっと長万部で暮らしていける道をつくります。これからもよろしくお願いします♪